

合格証明書



GODOX WeChat 公式アカウント

深圳市神牛摄影器材有限公司

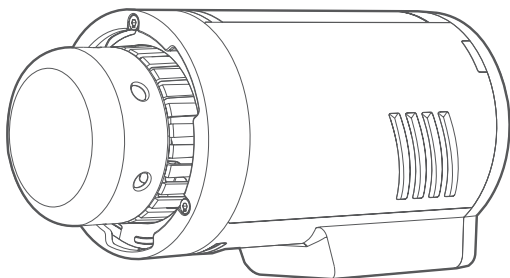
所在地：深圳市宝安区福海街道塘尾社区耀川工业区工場 2 棟 電話：0755-29609320(8062)
FAX: 0755-25723423 メールアドレス：godox@godox.com

www.godox.com

Made in China | 705-AD30P2-04



Godox



AD300Pro II

屋外用フラッシュ

取扱説明書

目次

重要な安全上の注意事項	1
はじめに	3
主な特徴	4
各部名称	5
内容物	7
別売アクセサリ	8
リフレクターの取り付け及び取り外し	8
他のマウントアダプターおよびアクセサリの取り付け	9
フラッシュ管の取り付けおよび取り外し	10
バッテリーの装着および取り外し	11
電源スイッチ	12
バッテリー残量表示	13
TTL：自動フラッシュ	13
M：マニュアルフラッシュ	14
Multi：ストロボフラッシュ	16
ハイスピードシンクロ	17
ワイヤレス（2.4G）通信	17
フラッシュモード	20
モデリングランプ	20
メニュー設定	21
シンクトリガー	22
ズーム機能	22
保護機能	22
Godox 2.4G ワイヤレス不発の原因および対策	24
技術仕様	25
ファームウェアアップデート	26

重要な安全上の注意事項

本製品はプロフェッショナル用写真機材であり、専門の技術者のみが操作してください。

本製品を使用する際は、以下の基本的な安全上の注意事項を必ず遵守してください。

製品の輸送用保護材および包装は、使用前にすべて取り除いてください。

1. ご使用前に必ず取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を十分にご理解のうえ、安全上の注意事項を厳守してください。これを怠ると、死亡、重傷、製品の損傷またはその他の財産被害を引き起こす恐れがあります。
2. フラッシュの電源が入っている間は高電圧が存在します。電源を切った後も内部のコンデンサーには一定時間電荷が残ります。
3. 本製品はプロフェッショナル用の照明機器であり、子供の使用を禁止します。機器に近づく際は、子供が衝突や不適切な操作による人身事故を起こさないよう、必ず大人が厳重に監督してください。
4. 本機は一般照明用の器具ではありません。通常の照明目的には使用しないでください。眼に障害のある方や感受性の強い方は、本機の使用および直接の視認を避けてください。
5. 使用時には細心の注意を払い、フラッシュ管などの高温部に触れて火傷を負わないようにしてください。
6. いかなる場合でもフラッシュを直接目（特に乳幼児の目）に向けしないでください。短時間で視力障害を引き起こす恐れがあります。違和感が生じた場合は直ちに電源を切り、使用を中止し速やかに医療機関を受診してください。
7. フラッシュ管が損傷した場合は、直ちに使用を中止し、事故防止のためメーカー、サービス代理店または有資格の修理技術者へ交換を依頼してください。
8. 破損した機器またはアクセサリは絶対に使用しないでください。修理後は専門の修理技術者による点検および正常動作の確認を受けてから使用を再開してください。
9. フラッシュ管、保護ガラス、ヒューズ交換の際は、必ず電源を切るか電池（内蔵の場合）を取り外してください。フラッシュ管交換時には 10 分間の冷却時間を確保し、作業時は絶縁手袋または耐熱手袋を着用してください。
10. プラグの抜き差しを行う前に、必ず電源をオフにしてください。接続時にはプラグが確実に差し込まれていることを確認してください。
11. 落下、挟み込み、強い衝撃により製品外装が破損した場合は、内部電子部品への接触による感電の危険があるため、ただちに使用を中止してください。
12. 一部製品には長い電源コードが付属しています。熱源との接触やつまずき防止のため、適切に配置してください。純正の電源コードをご使用いただくことを推奨します。純正以外のコード使用による損傷は保証対象外です。
13. 清掃やメンテナンスの前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを無理に引っ張らず、必ずプラグの根元を両手で持って抜いてください。

14. 本機器は防水仕様ではありません。水やその他の液体に浸さず、常に乾燥した状態でご使用ください。換気が良く乾燥した場所に設置し、雨天時、多湿、ほこりの多い環境や高温環境での使用は避けてください。機器の上に物を置いたり、液体が内部に浸入することを防ぎ、危険を回避してください。
15. 許可なく分解しないでください。製品に不具合が発生した場合は、必ず当社または認定修理技術者による点検および修理を受けてください。
16. 保管前には機器が完全に冷却され、電源コードがコンセントから抜かれていることを確認してから、保護ケースまたは換気の良い乾燥場所に保管してください。
17. アルコール、ガソリン、メタンやエタンなどの可燃性揮発性溶剤やガスの近くに本機を設置しないでください。
18. 爆発の恐れがある環境での使用および保管は絶対に避けてください。
19. 放熱口を覆わないでください。
20. 当社が承認していないアクセサリーの使用は、火災・感電・人身事故の原因となるため禁止します。
21. 乾いた柔らかい布で優しく清掃してください。湿った布の使用は本機の損傷を招く恐れがありますので避けてください。
22. 本取扱説明書は厳密な試験に基づいて作成されています。設計および仕様は予告なく変更される場合があります。最新の取扱説明書および製品アップデートは公式ウェブサイトでご確認ください。
23. 一部製品にはリチウム電池が使用されており、寿命が限られています。充電容量は徐々に低下し、回復は不可能です。電池の経年劣化により、本製品の使用可能時間は短くなります。リチウム電池の寿命はおおよそ2～3年とされています。定期的に電池の状態を確認し、充電時間が著しく長くなる、または使用時間が著しく短くなる場合は電池交換を検討してください。
24. 一部の製品にはリチウム電池が搭載されています。以下は保管に関する推奨事項です。保管前にバッテリーを約50%まで充電してください。少なくとも6か月に一度、約50%まで充電してください。取り外し可能なバッテリーは別々に保管してください。保管温度は0°Cから40°Cの範囲内にしてください。
25. リチウム電池搭載製品については、以下の点にご注意ください。
 - バッテリーを分解、破壊、または穴をあけないでください。
 - バッテリー端子を短絡させないでください。
 - バッテリーを火や水にさらさないでください。
 - バッテリーを60°C以上の高温にさらさないでください。
 - 小児の手の届かない場所に保管してください。
 - バッテリーを過度な衝撃や振動から保護してください。
 - 損傷したバッテリーは使用しないでください。
 - バッテリーが液漏れした場合、漏れた液体に触れないでください。
 - 万が一バッテリー液が目に入った場合は、直ちに少なくとも15分間水で洗い流してください。まぶたを開けて液体の痕跡がなくなるまで洗浄し、速やかに医療機関を受診してください。

26. バッテリーを取り扱う際は、関連するすべての地域の法令を確認し、遵守してください。
27. 本機器の保証期間は 1 年間です。消耗品（バッテリー等）、アダプター、電源コードおよびその他の付属品は保証対象外です。
28. 無許可の修理は保証を無効とし、有償修理となります。
29. 誤操作による故障は保証対象外です。

はじめに

ご購入いただき、誠にありがとうございます。

屋外用フラッシュ AD300ProII はコンパクトで携帯性に優れ、2.4G ワイヤレス X システムを内蔵し、キャノン、ニコン、ソニーの TTL 自動調光システムに完全対応しています。商業写真家、ジャーナリスト、ウェディングドキュメンタリーフォトグラファー等に最適な光源です。

主な特徴

機能を完全に強化: 最大 300Ws、0.01 秒 ~ 1.5 秒の高速リサイクルタイム (1/1 ステップ)、350 回のフルパワーフラッシュ。

豊富なアクセサリ: 内蔵 Godox マウントおよび付属アダプターホルダー AD-AB により、Broncolor、Profoto、Elinchrom 等のオプションマウントアダプターに対応。

安定した色温度: 全出力範囲で約 $\pm 100\text{K}$ の色温度変動を抑制します。

驚異的なフリーズモード: 本モードではリサイクルタイムが最短 1/24390 秒に短縮されます。

LED モデリングランプ: 12W バイカラー大型 LED モデリングライトは明るさおよび色温度 (CCT) を自由に調整可能です。

10 段階のパワーステップ: フルパワー 1/1 から 1/512 まで、各ステップは ± 0.1 単位で調整可能です。

広範な互換性: キヤノン、ニコン、富士フィルム、OM SYSTEM、ソニー、ライカ、ペンタックス等の TTL オート / マニュアル / マルチフラッシュシステムに完全対応。マルチフラッシュシステムのセカンダリーフラッシュとしても動作可能。

ワイヤレスコントロール: 内蔵の 2.4G ワイヤレス X システムにより、オプションの Godox フラッシュトリガーでのリモートコントロールを実現。さらに 3.5mm シンクコードジャックにより各種シンクトリガーモードに対応。

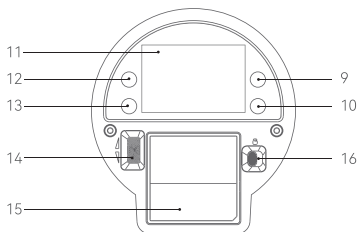
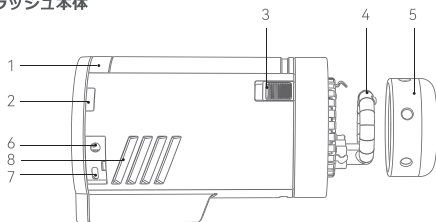
識別しやすいグループカラー: 16 グループにそれぞれ異なる色を採用し、遠距離使用時でも速やかに識別可能。

簡単操作: カラースクリーン搭載、無段階回転セレクトダイヤル、着脱式バッテリーパック設計。

注意: AD300ProII は 2.4G ワイヤレス受信を搭載しておりますが、USB-C インターフェース経由で外部 433MHz 受信機 (例: FR433 受信機) を接続することで 433MHz 信号の受信もサポートしています。

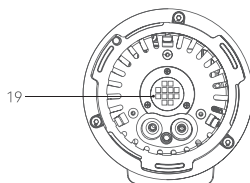
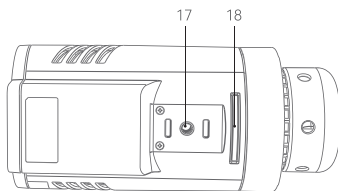
各部名称

フラッシュ本体



1. フォトセルセンサー
2. グループインジケータ
3. マウント固定ブッシャー
4. フラッシュ管
5. ガラス保護カバー
6. 3.5mm 同期コードジャック
7. USB-C ポート（ファームウェアアップグレードおよび 433MHz 受信機接続用）

8. サーモベント
9. モデリングランプボタン
10. 電源スイッチ/テストボタン
11. カラースクリーン
12. モードボタン
13. メニューボタン
14. セットダイヤル
15. リチウムイオンバッテリー
16. バッテリー取り外しプッシャー
17. 1/4 インチ取付穴
18. アダプターホルダースロット（アダプターホルダーは別売）
19. LED 二色モデリングランプ



カラースクリーン

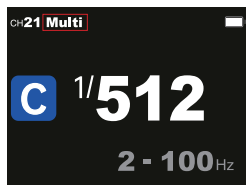
TTL オートフラッシュ（ワイヤレスモードにてグループ A-E 対応）



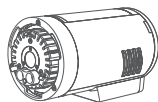
M マニュアルフラッシュ



マルチフラッシュ



内容物



フラッシュ本体 × 1



フラッシュ管 × 1



ガラス保護カバー × 1



PD アダプター × 1



DC アダプター × 1



充電ケーブル × 1



バッテリー × 1



バッテリー保護
カバー × 1



リフレクター × 1



リフレクター保護カバー × 1



AD-E2 ブラケット × 1



キャリーバッグ × 1



取扱説明書 × 1

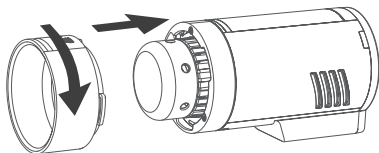
別売アクセサリー

フラッシュトリガー：XPro、XProII、X2T、X3、および FT433 シリーズ。

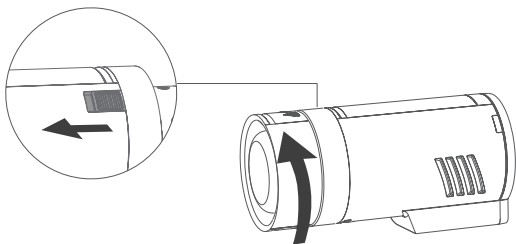
光学アクセサリー：アダプターホルダー AD-AB、ボーエンスマウントアダプター、エリンクロムマウントアダプター、Profoto マウントアダプター、および Broncolor マウントアダプター。

リフレクターの取り付け及び取り外し

リフレクターマウントを Godox マウントに合わせて差し込み、時計回りに回してロックしてください。



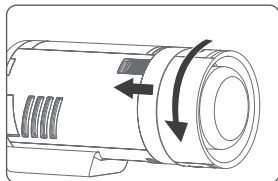
マウント固定ブッシャーを押し下げ、リフレクターを反時計回りに回してロックを解除してください。



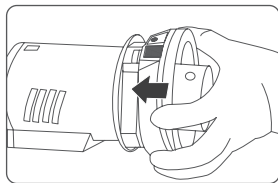
他のマウントアダプターおよびアクセサリーの取り付け

本節では他のマウントアダプターおよびアクセサリーの取り付け方法のみを説明します。
アダプターホルダー、マウントアダプターおよびアクセサリーは別売です。

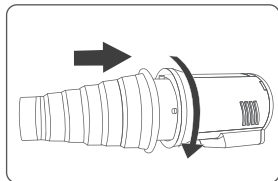
1. マウント固定ブッシャーを横に押しのけ、リフレクターまたは他のアクセサリーを反時計回りに回して取り外してください。



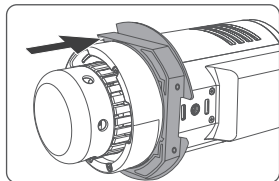
3. Bowens マウントまたは他のマウントアダプターをアダプターホルダーに合わせてください。



5. Bowens マウントまたは他のマウントのアクセサリーを取り付け、時計回りに回して装着してください。

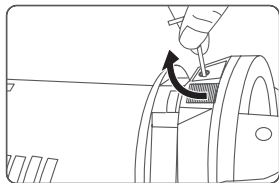


2. アダプターホルダーの長い方の半分をアダプターホルダースロットに取り付けてください。次に、もう一方の半分を取り付けて円形を形成してください。
注意：アダプターホルダー AD-AB は別売です。



4. 4本のネジを締めてマウントアダプターをしっかり固定してください。

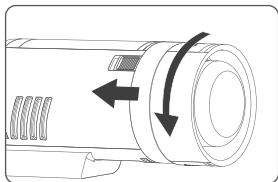
注意：マウントアダプターは別売です。



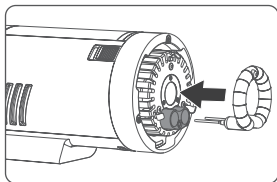
フラッシュ管の取り付けおよび取り外し

取り付け

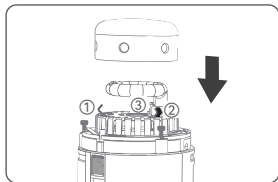
1. マウント固定ブッシャーを横に押しつけ、リフレクターまたは他のアクセサリーを反時計回りに回して取り外してください。



2. フラッシュ管を管ソケットにはめ込んでください。フラッシュ管をソケットにしっかりと収まるまで押し込んでください。

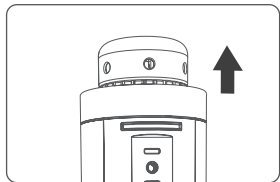


3. スプリング 1 をガラス保護カバーにしっかりと固定し、その後スプリング 2 と 3 を同時に押し下げて取り付けてください。

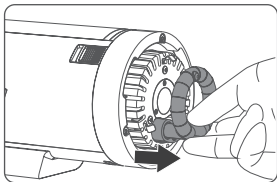


分解

1. スプリング 1 の前に、まずスプリング 2 および 3 からガラス保護カバーを引き抜いてください。

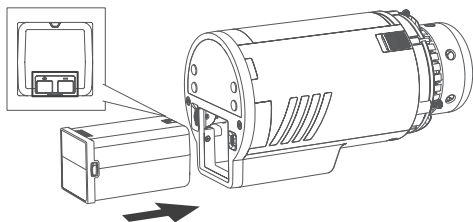


2. 親指と人差し指でフラッシュ管ホルダーをつまみ、フラッシュ管を上方向に引き抜いてください。

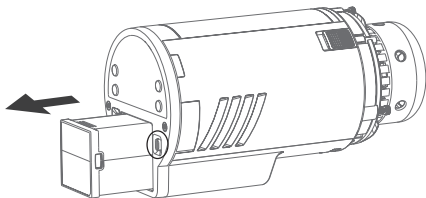


バッテリーの装着および取り外し

バッテリーをバッテリースロットに合わせ、ロックされるまで確実に差し込んでください。



バッテリーデタッチャブッシャーを押すとバッテリーが押し出されますので、取り外してください。



電源スイッチ

電源オン：電源スイッチボタンを長押しし、パネルにロック解除アイコンが表示されたら、セットダイヤルを回して本機を起動してください。

電源オフ：電源スイッチボタンを長押しし、パネルが消灯するまで押し続けて本機の電源を切ってください。

注意：長期間使用しない場合は、必ず本機の電源をお切りください。本機には自動電源オフ機能が搭載されており、メニュー設定にて設定可能です。

バッテリー残量表示

バッテリーパックをフラッシュに正しく装着してください。バッテリー残量インジケータを押すと、以下の表に示す通り残量インジケータが点灯し、バッテリー残量を確認できます。

バッテリー残量表示	意味
3グリッド	フル
2グリッド	中
1グリッド	低
空のグリッド	バッテリー残量が低下しています。充電してください。
点滅	バッテリー残量がほぼ無くなりつつあり、この状態ではフラッシュは動作しません。 注意：できるだけ早く（10 日以内に）バッテリーを充電してください。その後、バッテリーは使用するか長期間保管することが可能です。

TTL：自動フラッシュ

TTL モードでは、カメラの測光システムが被写体からのフラッシュ反射を検出し、被写体と背景が均一に露出するようにフラッシュ出力を自動調整します。

メニューボタンを押してメニュー画面に入り、セットダイヤルを回して押すことでワイヤレス設定に入りオンにできます。グループは A から E の中から設定してください。グループを 0 ～ 9 または F に設定した場合、TTL 自動フラッシュは表示されません。

モードボタンを押して TTL モードに入り、画面に <TTL> が表示されます。



M : マニュアルフラッシュ

フラッシュ出力は 1/1（フルパワー）から 1/512 まで、0.1 ステップ単位で調整可能です。正確なフラッシュ露出を得るために、ハンドヘルドフラッシュメーターを使用して必要なフラッシュ出力を測定してください。

モードボタンを押して <M> が表示されるようにしてください。セレクトダイヤルを回して、目的のフラッシュ出力量を選択してください。



光学 S1 セカンダリーユニット設定

メニューボタンを押してフォトセル設定に入り、S1 機能を選択してください。これにより、本フラッシュは M マニュアルフラッシュモードにて光学センサーを使用した光学 S1 セカンダリーフラッシュとして動作します。続けてメニューボタンを押し、メイン画面に戻ってください。この機能により、メインフラッシュの発光時に本フラッシュが同期発光し、ワイヤレストリガー使用時と同様の効果が得られます。これにより、多彩なライティング効果の演出が可能となります。

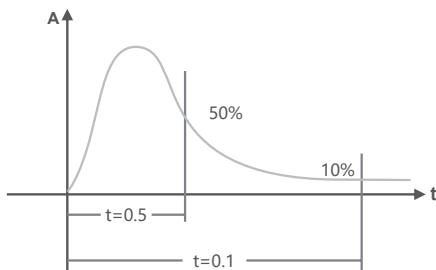
光学 S2 セカンダリーユニット設定

メニューボタンを押してフォトセル設定に入り、S2 機能を選択してください。これにより、本フラッシュは M マニュアルフラッシュモードにて光学センサーを使用した光学 S2 セカンダリーフラッシュとして動作します。続けてメニューボタンを押し、メイン画面に戻ってください。この機能は、カメラにプリフラッシュ機能が搭載されている場合に有効です。この機能を有効にすると、メインフラッシュの単一のプリフラッシュを無視し、メインユニットの 2 回目の実際の発光時のみ発光します。

注意：S1 および S2 光学トリガーは M マニュアルフラッシュモードのみで使用可能です。

フラッシュ持続時間の表示

フラッシュ持続時間とは、フラッシュ発光から最大半ピークに達するまでの時間を指します。最大半ピークは通常 $t=0.5$ で表されますが、本製品では撮影者により具体的なデータを提供するため、 $t=0.1$ を採用しています。 $t=0.5$ と $t=0.1$ の差異は下図に示されています。



注意：M モードで高速同期機能をオフにすると、フラッシュ持続時間が表示されます。



Multi : ストロボフラッシュ

ストロボフラッシュでは、高速かつ連続的な発光が繰り返されます。これにより、動体の複数の瞬間を一枚の写真に記録できます。フラッシュ出力、発光回数、および発光周波数（1秒あたりの発光数をHzで表記）を設定可能です。



1. モードボタンを押して <Multi> が表示されたら、セレクトダイヤルを回して希望のフラッシュ出力を選択してください。
2. セットダイヤルを回して押し、発光回数を設定してください。
3. セットダイヤルを回して押し、発光周波数を設定してください。

シャッタースピードの計算

ストロボスコーピックフラッシュ中は、発光が停止するまでシャッターが開いたままとなります。以下の式を用いてシャッタースピードを算出し、カメラで設定してください。

$$\text{発光回数} \div \text{発光周波数} = \text{シャッタースピード}$$

例えば、発光回数が 10 回、発光周波数が 5Hz の場合、シャッタースピードは最低 2 秒に設定してください。

注意：


1. 過熱およびフラッシュヘッドの劣化を防止するため、連続してマルチフラッシュを 10 回以上使用しないでください。10 回使用後は、最低 15 分間の休息時間を設けてください。連続してマルチフラッシュを 10 回以上使用しようとした場合、フラッシュヘッド保護のため発光が自動的に停止することがあります。その場合は、最低 15 分間の休息を必ず設けてください。
2. ストロボスコーピックフラッシュは、暗い背景に対し非常に反射率の高い被写体で最も効果的です。
3. 三脚および TTL フラッシュトリガーの使用を推奨いたします。
4. ストロボスコーピックフラッシュでは、1/1 および 1/2 のフラッシュ出力は設定できません。
5. ストロボスコーピックフラッシュは「バルブ」設定で使用可能です。
6. 発光回数が「--」と表示されている場合、シャッターが閉じるかバッテリーが切れるまで発光が継続されます。発光回数は、以下の表に示された制限内となります。

最大ストロボスコピック発光回数：

フラッシュ出力 Hz	1	2	3	4	5	6-7	8-9	10	11	12-14	15-19	20-50	60-100
1/4	7	6	5	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	5	4	4	4	4	4	4
1/16	30	30	30	20	20	20	10	8	8	8	8	8	8
1/32	60	60	60	50	50	40	30	20	20	20	18	16	12
1/64	90	90	90	80	80	70	60	50	40	40	35	30	20
1/128	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40
1/256	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40
1/512	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40

ハイスピードシンクロ

ハイスピードシンクロ（FP フラッシュ）は、すべてのカメラシャッタースピードに対応したフラッシュ同期を可能にいたします。絞り優先モードによるポートレート等のフィルフラッシュ撮影に便利です。

メニューボタンを押してメニュー画面に入り、セットダイヤルを回して押すことでハイスピードシンクロを選択・オンにできます。その後メニューボタンを押してメイン画面に戻ると、パネルに HS アイコン <  H > が表示されます。



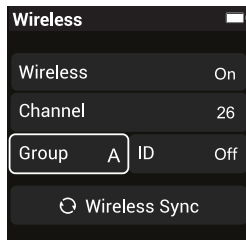
ワイヤレス（2.4G）通信

AD300ProII は 2.4G ワイヤレス X システムを採用しており、他の Godox 製品との高い互換性を有しております。トランスミッターユニットに応じて手動設定を行うことなく、自動的にレシーバーユニットに切り替わります。対応カメラには、キヤノン、ニコン、ソニー、オリンパス、パナソニック、富士フイルム、ペンタックス、ライカなどが含まれます。

レシーバーユニットとして、AD300ProII は以下のトランスミッターユニットから制御可能です：XPRII シリーズ、X3 シリーズ、X2T シリーズ、V1Pro シリーズ、V1 シリーズ、V860III シリーズ、および V100 シリーズ。

ワイヤレス設定

メニューボタンを押してメニュー画面に入り、セットダイヤルを回して押すことで wireless、channel、group、ID、wireless sync から選択し、さらにセットダイヤルを回してパラメーターを調整します。メニューボタンを押すと前のメニューに戻り、再度押すとメイン画面に戻ります。



ワイヤレス	オン／オフ
チャンネル	1-32
グループ	0-9、A-F
ID	オフ、1-99
ワイヤレス同期	セットダイヤルを押す

ワイヤレスシンク機能のない送信機を使用する場合は、チャンネル、グループ、ID を手動で設定する必要があります。

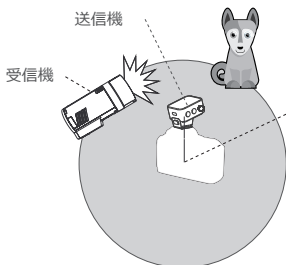
ワイヤレスシンク機能を備えた送信機を使用する場合は、チャンネル、グループ、ID をワイヤレスシンクにより迅速に設定できます。

X3 フラッシュトリガーを例として：

1. カメラの電源を切り、カメラのホットシューにフラッシュトリガーを装着してください。次に、フラッシュトリガーおよびカメラの電源を入れてください。
2. X3 の画面を上から下にスライドして<設定>を表示し、<設定>を押して C.Fn. メニューに入り、<ワイヤレス>を選択してから<ワイヤレスシンク>を選んでください。
3. AD300ProII のメニューボタンを押してワイヤレスを選択しオンにし、セットダイヤルを回して<ワイヤレスシンク>を選択してください。
4. チャンネルおよび ID が自動的に同一に設定されます。
5. フラッシュトリガー上の各グループのフラッシュモードと出力レベルを設定してください。
6. フラッシュトリガーのトリガーボタンまたはカメラのシャッターボタンを押して発光させてください。

ワイヤレスフラッシュ撮影

• 一台のレシーバーによる自動フラッシュ撮影



送信距離は約 100m です。

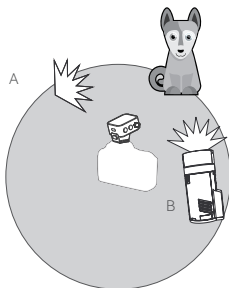
注意：

1. 必ずワイヤレス送信機能を備えた送信機をご使用ください。
2. 撮影前にテスト発光およびテスト撮影を必ず行ってください。
3. 受信ユニットの配置状況、周囲環境、気象条件により、送信距離が短くなる場合があります。
4. 送信機ユニット側から受信ユニットをオフにすることが可能です。

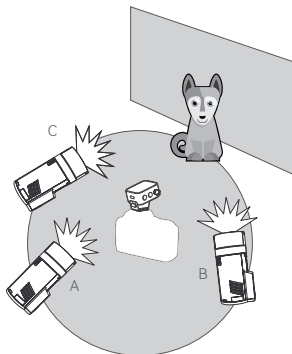
ワイヤレス多灯フラッシュ撮影

受信ユニットを2つまたは3つのグループに分け、フラッシュ比率（ファクター）を変更しながら TTL 自動発光が可能です。また、各発光グループごとに異なるフラッシュモードを設定して撮影が可能です。

• 受信ユニット2台によるフラッシュ撮影





• 受信ユニット3台によるフラッシュ撮影



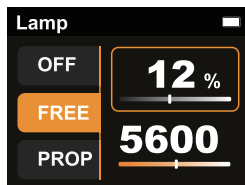
フラッシュモード

メニューボタンを押してメニュー画面に入り、セットダイヤルを回して押すとフラッシュモードに移行します。ノーマル、カラー、フリーズのいずれかを選択してください。

ノーマル	ノーマルフラッシュモードではメイン画面に表示はありません。
カラー	安定色温度モードではメイン画面に <  > が表示されます。ブルーインジケータが点滅し、ピーパー音が 1 分間鳴動します。通常使用に戻すにはテストボタンを押してください。安定色温度機能は非 HSS の M モードのみで使用可能で、全出力範囲にわたり $\pm 100\text{K}$ 程度の変動があります。出力は 1/1 から 1/128、または 10 から 3.0 まで調整可能です。
フリーズ	メインインターフェースにて <  > 表示のフリーズモード。フラッシュの発光時間は通常モードより短く、出力も通常モードより低く設定されています。フリーズモードは M モードおよびマルチモードでのみ使用可能です。

モデリングランプ

モデリングランプボタンを押してモデリングランプ設定に入り、セレクトダイヤルを回して off/free/prop から選択し、さらにセレクトダイヤルを回して SET ボタンを押してパラメータを調整します。モデリングランプボタンを押してメインインターフェースに戻ります。






レベル 1 オプション	レベル 2 オプション	注意事項
OFF	/	モデリングランプを消灯する
FREE	10% ~ 100% (1% 刻み)	明るさ範囲
	2800K ~ 6000K (100K 刻み)	CCT 範囲
PROP	2800K ~ 6000K (100K 刻み)	CCT 範囲。明るさはフラッシュ出力に連動します。

メニュー設定

メニューボタンを押して、以下のメニュー設定を開きます。

アイコン	機能	オプション	注意事項
	ワイヤレス	オフ	ワイヤレス機能をオフにする
		オン	ワイヤレス機能をオンにし、チャンネル・グループ・ID の設定が可能です。
	フラッシュモード	ノーマル	通常フラッシュモード
		カラー	HSS 非対応の M モードで使用可能
		フリーズ	M モードおよびマルチモードで使用可能
	フォトセル	オフ	フォトセルをオフにする
		S1	M モードでフォトセルをオンにする
		S2	M モードでフォトセルをオンにする
	HSS	オフ	ハイスピードシンクをオフにする
		オン	M モードおよび TTL モードでハイスピードシンクロをオンにする
	モデル	インター	トリガリング時のモデリングランプをオフにする
		連続	モデリングランプ常時点灯
	ピープ音	オフ	ピープ音をオフにする
		オン	ピープ音をオンにする
	タイプ	1/512	フラッシュステップ表示：1/512 - 1/1
		1.0	非 HSS モード時のフラッシュステップ表示：1.0 - 10.0
	スタンバイ	30 秒	30 秒間操作がない場合、画面が消灯する
		1 分	1 分間操作がない場合、画面が消灯する
		2 分	2 分間操作がない場合、画面が消灯する
		3 分	3 分間操作がない場合、画面が消灯する
	自動オフ	オフ	オートオフ機能をオフにする
		30 分	30 分後に自動電源がオフになる
		60 分	60 分後に自動電源がオフになる
		90 分	90 分後に自動電源がオフになる
		120 分	120 分後に自動電源がオフになる
	輝度	20%-100%	セレクトダイヤルを回して調整する
	遅延	オフ	遅延発光機能をオフにする
		0.01 秒～ 30.0 秒	セレクトダイヤルを回して遅延フラッシュを調整してください
	マスク	マスク (2-4)	マスクと alt は組み合わせて使用してください。マスクはフラッシュの総回数を示し、alt は n 回目のフラッシュを示します。例えば、マスクに 3 を選択し、alt に 1 を選択した場合、3 回のフラッシュのうち最初の 1 回のみが発光します。
		代替 (1-4)	

	言語	中国語	簡体字中国語オペレーティングシステム
		英語	英語オペレーティングシステム
	リセット	はい	工場出荷時設定にリセット
		いいえ	工場出荷時設定へのリセットをキャンセル
	デバイス情報	/	現在のモデルおよびバージョンを表示

シンクトリガー

シンクコードジャックはΦ 3.5mm プラグです。トリガープラグを挿入すると、カメラのシャッターと同期してフラッシュが発光します。


ズーム機能

フラッシュユニットを別売の S2 マウントアダプターに接続することで、ズーム機能を実現できます。前後に移動させることで、スポット照射およびフルード照射効果が得られます。

保護機能

1. 過熱保護

過熱およびフラッシュヘッドの劣化を防ぐため、1/1 フルパワーで 80 連続以上の高速連射発光、および HSS モードの 1/1 フルパワーで 50 連続以上の高速連射発光は行わないでください。

上記の連続発光数を超え、短時間にさらに発光を繰り返すと、内部の過熱保護機能が作動し、リサイクル時間が 10 秒以上に延長される場合があります。この状態が発生した場合は、約 10 分間の休止を行うことで、フラッシュユニットは正常に戻ります。過熱保護が作動すると、<  > が画面に表示されます。

過熱保護が作動するフラッシュの発光回数：

出力レベル	発光回数
1/1	80
1/2 (+0.0~+0.9)	150
1/4 (+0.0~+0.9)	200
1/8 (+0.0~+0.9)	300
1/16(+0.0 ~ +0.9)	600
1/32(+0.0 ~ +0.9)	1200
1/64(+0.0 ~ +0.9)	3000
1/128(+0.0 ~ +0.9)	6000
1/256(+0.0 ~ +0.9)	6000
1/512(+0.0 ~ +0.9)	6000

高速同期トリガーモードで過熱保護が作動するフラッシュの発光回数：

出力レベル	発光回数
1/1	50
1/2(+0.0 ~ +0.9)	60
1/4(+0.0 ~ +0.9)	75
1/8(+0.0 ~ +0.9)	100
1/16(+0.0 ~ +0.9)	120
1/32(+0.0 ~ +0.9)	200
1/64(+0.0 ~ +0.9)	200
1/128(+0.0 ~ +0.9)	200
1/256(+0.0 ~ +0.9)	200

2. その他の保護機能

本システムは、機器およびユーザーの安全を確保するためにリアルタイム保護を提供します。以下に参考用の警告表示を示します：

表示	意味
エラー 1	リサイクルシステムに故障が発生し、フラッシュが発光できません。フラッシュユニットを再起動してください。問題が解決しない場合は、メンテナンスセンターへお送りください。
エラー 3	フラッシュ管の二つの出力端子間の電圧が高すぎます。本製品をメンテナンスセンターへお送りください。
エラー 9	ファームウェアアップグレード中にエラーが発生しました。正しいファームウェアアップグレード方法をご利用ください。

Godox 2.4G ワイヤレス不発の原因および対策

1. 屋外環境における 2.4G 信号の干渉（例：無線基地局、2.4G Wi-Fi ルーター、Bluetooth 等）

→ フラッシュトリガーのチャンネル CH 設定を調整し（10 以上のチャンネルを追加）、干渉のないチャンネルをご使用ください。または、使用中の他の 2.4G 機器の電源をお切りください。

2. フラッシュがリサイクルを完了し、連続撮影速度に追いついているか（フラッシュ準備表示灯が点灯）および過熱保護等の異常状態でないかを必ずご確認ください。

→ フラッシュの出力を下げてください。フラッシュが TTL モードの場合は、M モードに切り替えてください（TTL モードではプリフラッシュが必要です）。

3. フラッシュトリガーとフラッシュ間の距離が近すぎないか（ < 0.5m ）ご確認ください。

→ フラッシュトリガーの「短距離ワイヤレスモード」をオンにしてください。

→ X1 シリーズ：トリガーボタンを押し続けたまま電源を入れ、インジケーターが 2 回点滅するまで待機してください。

→ XPro および X2T シリーズ：C.Fn-DIST を 0 ～ 30m に設定してください。

→ X3 シリーズ：トリガー距離を 0 ～ 30m に設定してください。

4. フラッシュのバッテリー残量が低い状態かどうか。

→ 速やかにバッテリーを充電または交換してください。

5. フラッシュトリガーのファームウェアが旧バージョンです。

→ ファームウェアの詳細なアップグレード方法は取扱説明書を参照し、フラッシュトリガーのファームウェアをアップグレードしてください。

6. カメラのファームウェアが旧バージョンです。

→ カメラの取扱説明書を参照し、ファームウェアをアップグレードしてください。

技術仕様

モデル	AD300Proll
ワイヤレス受信ユニットモード	ワイヤレスモード (キャノン E-TTL II、ニコン i-TTL、ソニー、OM SYSTEM、パナソニック、富士フィルム、ライカ、ペンタックス対応)
フラッシュモード	ワイヤレスオフ: M/Multi ワイヤレスオン: TTL/M/Multi
出力 (1/1 ステップ)	300Ws
フラッシュ持続時間 (t=0.1)	ノーマル: 1/220 秒 ~ 1/14920 秒
	カラーモード: 1/220 秒 ~ 1/9090 秒
	フリーズ: 1/2310 秒 ~ 1/24390 秒
出力レベル	10 段階: 1/512 ~ 1/1 (±0.1 ステップ間隔)
ストロボスコピックフラッシュ	連続発光 (最大 100 回、100Hz)
シンクロモード	ハイスピードシンク (最大 1/8000 秒)、ファーストカーテンシンクおよびセカンドカーテンシンク
遅延フラッシュ	0.01 秒 ~ 30 秒
マスク	√
ピープ音	√
フラッシュ持続時間表示	√
フォトセル	S1 / S2 / オフ
表示	カラースクリーン
モデリングランプ	
最大入力電力	12W
輝度範囲	10%~100%
CRI	≈ 97
TLCI	≈ 98
CCT	2800K-6000K
ワイヤレスフラッシュ (2.4GHz 送信)	
ワイヤレス機能	受信機、オフ
受信グループ	16 進数: 0 ~ 9、A ~ F
送信範囲	約 100m
チャンネル	32: 1-32
ID	01 ~ 99 / オフ

電源供給	
リチウムバッテリー仕様	14.4V/2600mAh/37.44Wh
フルパワーフラッシュ回数	約 350
リサイクルタイム	0.01 ～ 1.5 秒
バッテリーレベルインジケーター	√
省電力機能	メニュー設定にて自動電源オフ機能（アイドル時 30 分～ 120 分）を使用可能です。
シンクトリガーモード	3.5mm シンクコード
フラッシュ管色温度	5800K ± 200K
寸法および正味重量	
寸法（バッテリー装着時、リフレクター無し）	7.36"*3.94"*3.54"
正味重量（バッテリー装着時、リフレクター無し）	約 1.2kg

仕様およびデータは予告なく変更される場合があります。

ファームウェアアップデート

- 本フラッシュは USB-C ポート経由でのファームウェアアップデートに対応しています。アップデート情報は弊社公式ウェブサイトにて公開いたします。
- ファームウェアアップデートには USB-C ケーブル（別売）をご使用ください。
- ファームウェアのアップグレードには Godox G3 V1.1 ソフトウェアのサポートが必要です。アップグレードを行う前に、Godox 公式ウェブサイト (<https://www.godox.com/firmware-G3/>) より「Godox G3 V1.1 ファームウェアアップグレードソフトウェア」をダウンロードおよびインストールしてください。次に、該当するファームウェアファイルを選択してください。
- 最新の電子版取扱説明書をご参照ください。

警告

動作周波数：2412.99MHz ～ 2464.49MHz（受信のみ）

適合宣言

株式会社 GODOX フォト機器は、本機器が指令 2014/53/EU の基本要素事項およびその他関連規定に適合していることをここに宣言します。第 10 条第 2 項および第 10 条第 10 項に基づき、本製品は全 EU 加盟国にて使用が許可されています。適合宣言の詳細につきましては、以下のウェブリンクをご参照ください：<https://www.godox.com/eu-declaration-of-conformity/>

本機器は、身体から 0mm の距離で使用した場合に RF 仕様に適合します。

FCC 注意

本装置は FCC 規則第 15 部に準拠しています。操作は以下の 2 つの条件に従うものとします。

- (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならず、
- (2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、受信するすべての干渉を受け入れなければなりません。

適合責任者が明示的に承認していない変更または改造は、ユーザーの機器操作権を無効にする可能性があります。

IC 警告

本装置はカナダ工業省の免許不要 RSS 規格に準拠しています。操作は以下の 2 つの条件に従うものとします。

- (1) 本装置は干渉を引き起こしてはならず、
- (2) 本装置は、機器の望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れなければなりません。

本装置はカナダ工業省の免許不要無線機器に関する適用規則 (CNR) に準拠しています。使用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

- (1) 本装置は妨害を引き起こしてはならず、
- (2) 本装置のユーザーは、機能を損なうおそれのある電波障害を含む、受けるすべての電波障害を受け入れなければなりません。

保証書

お客様各位、本保証書は当社のメンテナンスサービス申請における重要な証明書です。販売店と連携の上、以下のフォームにご記入いただき、大切に保管してください。何卒よろしくお願い申し上げます。

製品 情報	モデル	製品コード番号
顧客 情報	氏名	連絡先番号
	住所	
販売者 情報	氏名	
	連絡先番号	
	住所	
	販売日	
注意		

注意：本フォームは販売店により押印されるものといたします。

対象製品

適用製品本書は製品メンテナンス情報に記載された製品（下記参照）に適用されます。その他の製品やアクセサリー（例：販促品、景品、付属の追加アクセサリー等）は本保証の対象外です。

保証期間

製品およびアクセサリーの保証期間は、関連する製品メンテナンス情報に従って定められております。保証期間は、製品を初めて購入した日（購入日）から算出され、購入日は製品購入時に保証書へ登録された日付として扱われます。

メンテナンスサービスのご利用方法

メンテナンスサービスが必要な場合は、製品販売代理店または正規サービス機関へ直接ご連絡ください。また、Godox のアフターサービスコールへご連絡いただければ、サービスを提供いたします。メンテナンスサービスの申請時には、有効な保証書のご提示が必要です。有効な保証書をご提示いただけない場合でも、製品またはアクセサリーがメンテナンス対象であることが確認された場合に限り、メンテナンスサービスを提供することがありますが、これは当社の義務とはみなされませ。

適用除外事項

本書による保証およびサービスは、以下の場合には適用されません：

①製品またはアクセサリーの保証期間が経過している場合；②不適切な使用・メンテナンス・保管によって生じた破損や損傷。具体例として、不適切な梱包、不適切な使用、外部機器の不適切な差し込みまたは抜き取り、落下や外部からの圧迫、不適切な温度、溶剤、酸、アルカリ物質への接触、浸水や多湿環境への暴露などが挙げられます；③非認可機関または非認可担当者による設置、メンテナンス、改造、追加、取り外し等の作業過程で生じた破損または損傷；④製品またはアクセサリーの元の識別情報が改ざん、変更、または除去された場合；⑤有効な保証書がない場合；⑥不正に認可された非標準または未公開のソフトウェアの使用による破損または損傷；⑦不可抗力または事故による破損または損傷；⑧製品自体に起因しない破損または損傷。上記の状況に該当する場合は、関連する責任当事者にご相談いただき、Godox は一切の責任を負いかねます。保証期間または保証範囲外の部品、アクセサリー、ソフトウェアによる損害は当社のメンテナンス範囲に含まれません。正常な変色、摩耗および消耗はメンテナンス範囲内の破損には該当しません。

メンテナンスおよびサービスサポート情報

製品の保証期間およびサービスの種類は、以下の製品メンテナンス情報に準拠します：

製品 タイプ	氏名	メンテナンス 期間（月）	保証 サービス種別
部品	回路基板	12	お客様が指定の場所 へ製品を 送付
	バッテリー	3	お客様が指定の場 所へ製品 を送付
	電気部品 例：バッテリーチャージャー等	12	お客様が指定の場 所へ製品 を送付
その他項 目	フラッシュ管、モデリングランプ、ランプ本体、 ランプカバー、ロック機構、梱包材等	いいえ	保証対象外

Godox アフターサービス コール +86-755-29609320 (8062)